【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-509602(P2005-509602A)
【公表日】平成17年4月14日(2005.4.14)
【年通号数】公開・登録公報2005-015
【出願番号】特願2003-528535(P2003-528535)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/131　(2006.01)
Ａ２３Ｋ　 1/00　(2006.01)
Ａ２３Ｋ　 1/14　(2006.01)
Ａ２３Ｋ　 1/16　(2006.01)
Ａ２３Ｋ　 1/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/30　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/40　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 5/30　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/131
Ａ２３Ｋ　 1/00　１０３
Ａ２３Ｋ　 1/14
Ａ２３Ｋ　 1/16　３０１Ｄ
Ａ２３Ｋ　 1/18　Ｂ
Ａ６１Ｋ　 9/30
Ａ６１Ｋ　47/40
Ａ６１Ｐ　 5/30

【手続補正書】
【提出日】平成17年9月20日(2005.9.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（ｉ）システアミン又はその塩、並びに（ｉｉ）安定剤及び／又はコートされた担体を含む動物の泌乳を向上させるための組成物。
【請求項２】
泌乳を増加させる動物飼料の製造のための請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記泌乳の向上が、乳収量の増加である請求項１または２に記載の組成物。
【請求項４】
前記泌乳の向上が、脂肪調整乳収量の増加である請求項１ないし３のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項５】
前記泌乳の向上が、その中の乳脂肪含有量の増加である請求項１ないし４のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項６】
前記泌乳の向上が、その中の乳蛋白含有量の増加である請求項１ないし５のいずれか１

項に記載の組成物。
【請求項７】
実質的に1ないし95wt%のNH_2-CH_2-CH_2-SHの化学式を有する前記システアミン又はその塩を含む請求項１ないし６のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項８】
実質的に30wt%の前記システアミンを含む請求項７に記載の組成物。
【請求項９】
実質的に1ないし80wt%の前記安定剤を含む請求項１ないし８のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項１０】
前記安定剤が、シクロデキストリン又はその誘導体を含む群から選択される請求項１ないし９のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項１１】
実質的に10wt%の前記安定剤を含む請求項９に記載の組成物。
【請求項１２】
嵩上げ剤及び崩壊剤を含む群から選択される１又はそれ以上の成分を更に含む請求項１ないし１１のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項１３】
前記コートされた担体が、固体担体である請求項１ないし１２のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項１４】
前記コートされた担体が、前記動物の腸内で可溶なコーティングである請求項１ないし１３のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項１５】
前記コートされた担体が、前記組成物において多層構造を呈する請求項１ないし１４のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項１６】
前記コートされた担体が、pH 1.5ないし3.5において、不溶のままであるように適合されている請求項１ないし１５のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項１７】
前記泌乳動物が、酪農牛である請求項１ないし１６のいずれか1項に記載の組成物。
【請求項１８】
請求項１ないし１７のいずれか1項に記載された組成物を含む泌乳動物の泌乳を向上させるための飼料。
【請求項１９】
実質的に400ないし1000ppmの前記組成物を含む請求項１８に記載の飼料。
【請求項２０】
前記飼料が、その乾燥状態において、実質的に1000ないし2174ppmの前記組成物を含む請求項１８に記載の飼料。
【請求項２１】
実質的に120ないし300ppmの前記システアミンまたはその塩を含む請求項１８に記載の飼料。
【請求項２２】
その乾燥状態において、実質的に200ないし650ppmの前記システアミンまたはその塩を含む請求項１８に記載の飼料。
【請求項２３】
哺乳動物を飼育するための、および泌乳動物の泌乳を向上させるための方法であって、（ａ）（ｉ）システアミン又はその塩、並びに（ｉｉ）安定剤及び／又はコートされた担体を含む組成物を、前記動物に好適な基礎飼料と混合することにより最終飼料を生産する工程と、

（ｂ）前記動物に前記最終飼料を給餌する工程と
を含む方法。
【請求項２４】
前記工程(a)の前記混合には、前記組成物を前記基礎飼料と直接混合することが含まれる請求項２３に記載の方法。
【請求項２５】
前記工程(a)の前記混合には、先ず、システアミン又は前記組成物を含むプレミックスを調製し、引き続いて、前記プレミックスを前記基礎飼料と混合することが含まれる請求項２３に記載の方法。
【請求項２６】
前記プレミックスが、前記システアミン又は前記組成物を、コーンミールを含む群から選択される食材と混合することにより調製される請求項２５に記載の方法。
【請求項２７】
前記プレミックスが、5ないし25wt%の前記組成物を含む請求項２５又は２６に記載の方法。
【請求項２８】
前記プレミックスが、10ないし20wt%の前記組成物を含む請求項２５ないし２７のいずれか1項に記載の方法。
【請求項２９】
1日当たり動物１頭あたり、実質的に5.64ないし12.71gの前記システアミン又はその塩を前記動物に給餌することを含む請求項２３ないし２８のいずれか１項に記載の方法。
【請求項３０】
1日当たり動物１頭あたり、実質的に18.79ないし42.36gの前記組成物を前記動物に給餌することを含む請求項２３ないし２８のいずれか１項に記載の方法。
【請求項３１】
前記最終飼料が、120ないし300ppmの前記システアミンまたは400ないし2174ppmの前記組成物を含む請求項２３ないし２８のいずれか1項に記載の方法。
【請求項３２】
哺乳動物を飼育するための、および泌乳動物の泌乳を向上させるための方法であって、
（ａ）請求項１ないし１７のいずれか1項に記載された組成物を、前記動物に好適な基礎飼料と混合することにより最終飼料を生産する工程と、
（ｂ）前記動物に前記最終飼料を給餌する工程と
を含む方法。